

# 佐倉市議会だより



2019年11月1日  
(令和元年)

発行・佐倉市議会 編集・広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL043-484-6254 FAX043-486-2508  
佐倉市ホームページ <http://www.city.sakura.lg.jp> メールアドレス [gikai@city.sakura.lg.jp](mailto:gikai@city.sakura.lg.jp)

## 決算審査特別委員会を設置

決算審査特別委員会は、4日間にわたり、担当部課長などからの説明を受け、慎重に審査を行いました。定例会最終日には、櫻井道明委員長から審査結果報告があり、次の3点について、要望しました。

### 決算審査特別委員会での意見・要望

- ①数値上では、財政の健全性が維持されてはいるものの、経常収支比率はまだまだ高い状況にあり、実質単年度収支は3年連続の赤字となっている。今後も続くことが予測される厳しい財政状況に鑑み、財源の確保にも意を用いた行政運営に努めるとともに、財政健全化に向けて、不断の努力を続けていただきたい。
- ②子育て支援施策及び母子保健施策の推進に努める姿勢は評価できる。今後も、地域の実情に沿った環境整備及びサービスの拡充に努めていただきたい。
- ③子育て世代の人口流入施策及び定住促進施策の立案に当たっては、縦割りではなく、企画政策部をはじめとする各部局が情報共有をした上で共通認識を図るべきである。市が目指す将来都市像を実現するためにも、オール佐倉で施策に取り組んでいただきたい。



決算審査特別委員会での審査の様子

### 決算特別委員会委員 (◎委員長 ○副委員長)

- ◎櫻井 道明 ○久野 妙子
- 鍋田 達子 ○岡野 敦
- 徳永由美子 山本 英司
- 敷根 文裕 五十嵐智美
- 萩原 陽子 藤崎 良次
- 平野 裕子

### 【平成30年度会計別決算の状況】 ※会計名の丸数字は議案番号

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
①一般会計	485億2,571万1,681円	467億7,793万294円	17億4,778万1,387円
②国民健康保険	177億3,716万8,001円	177億1,671万7,335円	2,045万666円
③公共用地取得事業	325万1,598円	325万1,598円	0円
④農業集落排水事業	2,446万2,123円	2,446万2,123円	0円
⑤介護保険	117億3,588万2,495円	117億2,786万9,678円	801万2,817円
⑥災害共済事業	576万9,414円	268万381円	308万9,033円
⑦後期高齢者医療	22億9,580万5,568円	22億8,990万5,028円	590万540円
会計名	事業収益決算額	事業費用決算額	純利益
⑧水道事業	38億2,775万3,299円	32億9,560万3,880円	5億3,214万9,419円
⑨下水道事業	38億5,334万4,207円	31億9,105万9,591円	6億6,228万4,616円

## 8月定例会

会期 8月26日～9月25日

## 平成30年度決算・令和元年度補正予算 など30議案を認定・可決・同意

### 議案第29号は継続審査

佐倉市議会は、8月26日から9月25日までの31日間にわたり、令和元年8月定例会を開催しました。  
今定例会では、市長から「平成30年度佐倉市一般会計歳入歳出決算の認定について」や「令和元年度佐倉市一般会計補正予算」など議案31件が提出され、審議しました。  
議員提出議案については、「高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書」など7件がそれぞれ提出され、審議しました。  
また、一般質問には、各会派の代表質問に6人、個人質問に12人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

## 総合計画関連議案を継続審査に

今定例会最終日に、議案第29号「基本構想及び前期基本計画の策定について」が追加提案されました。

佐倉市では、まちづくりのあり方や、各取り組みの適正性等を体系的に整理するため、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3層構成からなる「総合計画」を策定しています。「基本構想」とは、12年後に実現を目指す将来都市像と、その実現に向けたまちづくりの基本方針、「基本計画」とは、まちづくりの基本方針に基づき推進する基本施策、「実施計画」とは、施策を実施するための具体的な事務事業です。

佐倉市議会では、当該議案の重要性に鑑み、28名すべての議員で構成する「総合計画関連議案審査特別委員会」を設置し、閉会中の※継続審査とすることに決しました。なお、具体的な施策が整理された「基本計画」については、より詳細に審査する必要があると判断し、4つの分科会を設けました。この議案は、11月定例会で議決が予定されています。

※継続審査とは、議会の会期中に議決に至らなかった議案等について、議会の議決によって閉会中に引き続き付託を受けた委員会が審査すること。

### 総合計画関連議案審査特別委員会

総務分科会

文教福祉分科会

経済環境分科会

建設分科会

基本構想、総括的な事項については、議員全員で構成する特別委員会を審査します。

基本計画については、各常任委員会の委員で構成する分科会を設置して審査します。



総合計画関連議案審査特別委員会での審査の様子

市政に関する

一般質問

8月定例会では、9月2日から9月5日までの4日間にわたり、一般質問を行い、市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所1号館2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(11月下旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市議会ホームページの会議録検索システム(11月下旬配信予定)からご覧いただけます。なお、一般質問の様子は、佐倉市議会ホームページで録画中継をご覧いただけます。

一般質問通告要旨

代表質問 ※は持ち時間60分、それ以外は30分。( )内は会派名。【 】内は関連質問した同じ会派の議員。

Table with 2 columns: Member Name (e.g., 中村孝治, 齋藤寛之) and their respective questions (e.g., ①市長の政治姿勢, ②未来に向けた魅力あるまちづくり).

個人質問

Table with 2 columns: Member Name (e.g., 玉城清剛, 鍋田達子) and their respective questions (e.g., ①敬老事業について, ②児童の安全な通学について).

◎上記の通告内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い、大項目のみ掲載しています。

代表質問



さくら会 中村孝治

平成30年度決算について

問 財政状況の厳しさが現われてきている。市長はどうか分析、評価しているか。

答 財政の健全性は維持されているものの、硬直化など財政状況の厳しさが現われてきていることを実感している。財政規律を高め、持続可能な財政運営に全力で取り組む必要があると強く認識している。

第5次総合計画について

問 新たな将来都市像の意図や考えを伺う。

答 これまで「歴史 自然文化のまち」を将来都市像に掲げ、まちづくりを進めてきた。これらが今も佐倉

市を特徴づける大切な資源であることには変わりはないと考えている。今後の社会構造の変化に的確に対応するために「笑顔輝き 佐倉

咲く みんなで創ろう『健康・安心・未来都市』」を提案したいと考えている。

今後の敬老事業について

問 制度設計に当たり、どのような案を考えているか。

答 地区ごとに置かれている状況や課題が異なることから、「地域提案型」を組み込んだ案を示したい。

佐倉図書館等新町活性化複合施設整備について

問 市長としての見解を加えた整備について、現在の進捗状況を含めて伺う。

答 これまでの計画を基に、光を採り入れる工夫をし、青少年の利便性を考慮した施設整備をしていく必要が

あると考えている。加えて、国の交付金を活用し、道路を整備するなど、新町地区の活性化につなげたい。

問 ダムの完成と暫定井戸の削減を、どうお考えか。

答 安定的な水源を確保できるダムは必要不可欠であると同時に、暫定井戸も貴重な水資源であると考えている。今後とも暫定井戸の活用を検討していきたい。

第5次佐倉市総合計画(仮称) 佐倉図書館等

問 新町活性化複合施設とあわせて、区域内の歴史的建造物を結ぶ道路や公共交通の整備等を実施することにより、交流人口の増加とにぎ



自由民主さくら 齋藤寛之

小中学校の諸問題

問 教職員等の勤務時間は、現在の教職員数、仕事量では、縮減は容易ではない。

答 今後の改善策を伺う。教職員数は現状のまま、学校行事等の見直しを図るなど、業務改善を継続的に行うことで、勤務時間の縮減に努めていき、校務支援システムの活用状況を確認しながら、職員の負担軽減に努めていく。

わいを創出すると考えるが、意見を伺う。

答 施設や駅などを結ぶ回遊路や新たなバス路線を整備する都市再生整備計画を作成し、この計画が社会資本整備総合交付金の対象事業となるように、国や千葉県と協議をしている。

問 草ぶえの丘、サンセットヒルズ、ふるさと広場等の、印旛沼周辺の連携について伺う。

答 岩名運動公園を加えた連絡協議会を立ち上げ、回遊性の向上等に取り組んでおり、施設間連携を効果的に進めていきたいと考えている。

問 来年度から会計年度任用職員制度へ移行する。年間を通じた任用となる見通しで、社会保険にも加入となる。勤務年数に応じた期

問 避難所運営について

問 災害時に避難所となる学校体育館は、猛暑の中で

問 避難所運営について

今後の改善策を伺う。

答 教職員数は現状のまま、学校行事等の見直しを図るなど、業務改善を継続的に行うことで、勤務時間の縮減に努めていき、校務支援システムの活用状況を

確認しながら、職員の負担軽減に努めていく。

問 人材確保について、課題を伺う。

答 待遇面では従来の年次休暇や夏季休暇など新たな特別休暇を付与する等改善に努めている。

問 任用形態の改善策を伺う。

答 来年度から会計年度任用職員制度へ移行する。年間を通じた任用となる見通しで、社会保険にも加入となる。勤務年数に応じた期

問 避難所運営について

末手当も支給される見通しである。



公明党 押木孝和

防災・減災対策について

問 「マイ・タイムライン」や「地区防災計画」の普及など地域住民による防災コミュニティの力を高める取り組みが必要と考えるが、市の防災・減災対策について市長の見解を伺う。

答 地域で助け合うための地区防災計画を作成しておくことは、自助・共助を進める上で大変重要である。市民の防災意識の向上を図るとともに支援していく。

問 避難所運営について

問 災害時に避難所となる学校体育館は、猛暑の中で

学校体育館にもエアコン設置が必要と思うが市の考えを伺う。

答 エアコンの設置は重要であると認識しているが、体育館の広さや利用頻度を考慮するとさまざまな検討が必要であり、今後協議していく。

支援物資について

問 災害対応型自動販売機の設置状況と今後の拡充について伺う。

答 公民館など公共施設に設置している31台の自動販売機は、災害時には無償で商品を提供いただけることとなっている。今後、公共施設に設置する場合には、災害対応型自動販売機の設置を事業者にお問い合わせしていく。

医療費補助制度について

問 現在中学3年生まで医療費補助制度があるが、学費等の負担が大きくなる高校生世代までのさらなる医療費補助を行った場合、経費負担の増大額と年齢拡充についての考えを伺う。

答 子ども医療費助成制度を高校生まで対象とした場合、年間およそ8千万円の負担増と見込んでいる。年齢拡充については継続的な財政負担の増大など課題があり、慎重に検討してまいりたい。



市民ネットワーク 五十嵐智美

現総合計画の検証について

問 現計画で実施計画になり、志津自然園購入やスマートオフィスプレイス事業等が事前の説明もなく突然行われた。こうした事態について新市長の見解を伺う。

答 十分基本計画のつと、政策を進めていきたい。市民への説明が必要。

問 庁舎も耐震補強で20年使用可能としながら建設基本調査会を設置した理由は。

答 他市で竣工まで10年必要と聞き、早く立ち上げた。第5次総合計画について

問 計画と連動すると言われる市長マニフェストには、ふるさと広場の駐車場整備等の具体的な施策があるが、公開の場での検討が必要。

答 多様な意見を聞き、丁寧に意思決定していきたい。上水道について

問 ハツ場ダムと霞ヶ浦導水完成に向けたロードマップでは最終的に県水の受水量が4万2000m<sup>3</sup>になり、施設整備が必要。費用は。

答 用地取得を除き配水池、送水管で試算では約24億円。

問 最終的な試算で水道料金の値上げはどのくらいか。

答 約35%の値上げを予定。今後人口減少と節水による水需要の減少が予測される。現実離れた計画を見直し、再度議論すべき。



日本共産党 木崎俊行

「地方創生」で地域疲弊だ

問 安倍政権は公務員を半減し、営利目的の民間企業を参入させ、公共サービスを変質させようとしている。これでは、市民は主権者ではなく支払い義務を持つお客様だ。地域経済の判断指標を持っているのか。

答 県月例経済報告を参考。少子化対策に実効性を

問 私の議場配布資料から都内本社企業が地方で非正規低賃金労働者を雇用して本社へ所得を集中する構造が分かる。男性3百万円未満年収層の既婚率が一桁で少子化対策に逆行している。

答 少子高齢化はさまざまな要因が影響している。地盤沈下は沈静化、安全で

おいしい地下水を守る。資料から地盤の沈静化は明らか。ハツ場や霞ヶ浦導水等広域事業から撤退し、住民負担増となる上下水道料金の値上げ阻止を。

問 地下水利用に制限があるので撤退は考えていない。

答 中小企業振興・公契約条例

問 先進市では地域を支える中小企業の活動支援のため大企業の役割を条例に加えた。市の産業振興条例にも大企業の役割を加えては。

答 ご意見として承る。ワーキングプア問題解決策に公契約条例も検討を。



市民オンブズマン ひまわり会 藤崎良次

大型建設計画(新体育館建設、新市庁舎建設)の方針

問 岩名運動公園への新体育館建設をどう考えるか。

答 体育館を修繕すべきなのか、議論をしていきたい。

問 新市庁舎建設の委員会はずでに立ち上げた。新市長には大型建設をどんどん進める基本方針があるのか。

答 長期的な10年、15年というところで、そんな議論も必要であると認識している。選挙用ポスター掲示板

問 ポスター掲示板は交通安全上問題な場所がある。

答 ご指摘の3カ所は、道路渋滞発生もあるので、代替地を検討している。

問 県警本部の選挙違反対応

問 警察は選挙違反についてどう対応するのか。

答 県警本部は、「当該事案を選挙運動中に現認したとしても、まずは警告とするのが通例であり、これを行わず捜査案件とすることは基本的にはない。また、4月に行われた選挙運動期間中の行為をさかのぼって捜査対象とすることは難しい。」としている。



個人質問 玉城清剛

敬老事業について

問 西志津地区19自治会は今年度の敬老会開催を決定した。敬老事業の次年度へ向けた協議予定を伺う。

答 来年度の予算要求に向け各地区社協との意見交換等を経て、制度案を固める。

問 西志津多目的広場について

問 駐車場の雨水対策は。整備を行う等の対応を

答 整地を行う等の対応をしてきたが、水たまり等が発生する。解消に向け関係部署と協議する。

問 広場の売却予定は。

答 売却の予定はない。

問 球技を行えるようにする等の有効利用の考えは。

答 今後検討していく。維持管理費の支援について伺う。



SOSステッカーについて 鍋田達子

SOSステッカーについて

問 現在はビニール製のみである。衣服の裏側等に張り付けてはがれにくい素材でQRコードをスマホ等で読み取ると警察署等の電話番号が表示され、そのまま電話がかけられるステッカーも追加で取り入れてはどうか伺う。

答 関係市町と連携し、研究していく。

問 遺族が行う手続き等

問 死亡に伴い遺族の方が役所で行う手続きは大変煩雑。市役所以外での主な手続きも案内しているか伺う。

答 受付窓口や連絡先について案内している。

問 別府市のおくやみコーナーのようなワンストップサービスを実施すべきでは。

答 スペース等の問題で専用窓口の設置は難しいが、サービス提供の形を、さまざまな観点から検討する。

問 健康増進について

問 市民の健康増進のためにも検診率向上を望む。オラルフレイルを意識した一生涯のお口の健康のチラシも配布してはどうか伺う。

問 弓道場建設について

問 城下町佐倉にふさわしい弓道場の建設を願う。



稲田敏昭

敬老会について

敬老会について、どのような案を考えているか。

一律の委託方式ではなく、地域提案型で進めたい。

コミュニケーションバスについて

ユーカリが丘駅から白井駅までの国道296号線は、民間もコミュニケーションバスも走っていない空白地区。

ちばグリーンバスに要望している。

免許自主返納者に対する対策、アクセルとブレーキの踏み間違いなどによる安全装置の取り付けの補助を検討する考えはあるか。

地域公共交通網形成計画で運転免許の有無にかかわらずないお年寄りの移動支援策を検討していく。

また、踏み間違い防止安全装置などに對する支援を緊急の高齢者福祉施策として検討している。

京成佐倉駅北口エレベーター設置について

京成電鉄と協議されたと思うが京成電鉄の考えはどうだったか。

8月上旬に設置に関する協議を行った。国や市から補助金があれば、設置について検討する話もあった。



久野妙子 公明党

コミュニケーションバスについて

高齢者の外出の機会を増やすことは社会参加の促進にもつながり、最後まで生き生きと生活していくためには、自家用車に依存しない移動手段の確保が重要。

バス停増設やルートの拡充が必要だが、いかがか。

バス停の増設、移設、自由乗降区間の拡大変更などを検討していく。

料金見直しの声がある。所得水準を踏まえた新たな料金設定をすべきと考える。

お年寄りを対象とした割引制度など検討していく。

成人式について

参加者の思い出に残り、市から祝福する気持ちで伝える内容とするためには、予算の増額や成人式の経験者を運営委員としてアドバイスをいただくなども有効である。

式典のプログラムなど、抜本的な見直しを行うべきだと考えるがどうか。

成人式経験者の運営委員会への参加も含め、さらなる検討をしていく。

市税等キャッシュレス納付

パソコンやスマホ等を使った電子納税等新たな納付方法の導入について伺う。

実現化に向け検討する。



萩原陽子 日本共産党

食の安全について

食料自給率が37%に低下した。市民の食料確保に

ついでの考えを問う。

地域農業の持続的な発展に向けた支援に取り組み、地元農産物の消費拡大や担い手育成を図ることが重要。

新規就農者支援

家族農業は日本でも世界でも食料生産の主力で地産地消に適している。国は新規就農者の予算を削減したが、支援は継続できるか。

本年の事業に必要な予算は確保できている。

よりよい佐倉図書館実現を

多くの市民から意見を聞く場を早急に設けるべき。

引き続き、公募によるワークショップを行う。

明るくゆとりある空間で幅広い学習資料の提供を目的とする魅力的な図書館にするために準備室が必要。

基本設計に基づき進める。準備室の計画はないが司書職員などに意見を聞く。

設計変更で建設費は増額になるか。国の補助金はこの程度見込んでいるか。

具体的な工事費、補助金を答えられる状況にない。

新町活性化も大事にし、図書館は広い場所に建設を。



山本英司 自由民主党

市民の意見・要望への対応

市長への手紙や自治会の要望等に対し、どのように受け止め、対応するのか。

いずれも大切なものと認識し、必ず目を通し、ご

意見、ご要望に耳を傾け、オール佐倉で未来に向けたまちづくりに取り組み。

通学路の安全対策について

要望等の懸案事項であるが、弥富小に一番遠い岩富からだ片道3・8キロであり、歩道もなく道幅も狭く大変危険。市の考えは。

地区からの要望による横断歩道設置は、佐倉警察署を通じ県公安委員会へ要望しており、その状況で白線設置など安全対策を検討。

子供たちには往復7・6キロの登下校は、緊張感を保って通学するのは無理であり、安心して通える道になるよう要望する。

いじめ防止対策について

担任等による情報の抱え込み防止を視野に入れた対策についての取り組みは。

定期的な校長会議や生徒指導担当者会議、学校支援アドバイザーによる助言などを通して小さいいじめについても積極的に認知し、組織で対応するよう指導。

若者の声を反映する市政

若者の声を市政に反映させ、若い世代のための環境を整備していくことが重要だ。若者による、予算権限を持つ会議体である「若者議会」の創出を提案する。先行事例の新城市にならうと1700万円の予算が必



高橋とみお

財政運営について

将来の安定財政のためには歳出削減とともに、歳入の確保についても積極的に入を進めていく必要がある。歳入を増やすための方向性について問う。

関連施策を着実に進め流入人口の増加を図り、企業誘致など地域の産業、経済の活性化を図ること将来の税収増を目指す。

要なため、議員定数を2減らして財源とすべきと考え

市長の考えを伺う。

議員定数は、まず議会において議論すべきであるため発言は控える。若者の声を反映する仕組みの導入は必要だ。今後若者の考えを適宜伺い、若者が参画したくなる市政運営に努める。

「佐倉江戸時代まつり」独自性と今後について

現状の「佐倉江戸時代まつり」は、独自性が薄く、またターゲットインゲや実施効果のより深い検討が不可欠と考える。そこで、別紙を基に「佐倉・江戸」藩主とその時代「まつり」や、「古今佐倉真佐子編 江戸時代・麻賀多神社の祭礼の復元」等複数案を提案するが、市長の見解を伺う。

提案内容も含め、今後のあり方を検討する。

住みよいまちづくりと財政力向上の好循環を目指してほしい。

印旛沼の政策について

印旛沼に関してどのような政策を行っているのか。

浄化政策、治水政策、利水政策、観光・地域振興などを国・県・流域自治体等と連携して行っている。

総合調整など佐倉市が中心的な役割を担って行動することを期待する。

住んでよかつたと思えるまちづくり

行政区を超えたレンタルシェア自転車、鉄道文化遺産蒸気機関車の有効活用、窓口キャッシュレス化対応、市内郵便局との連携等を提案するかがいかがか。

市民の満足度向上につながる事業を展開していく。

公立保育園の使用済み紙おむつ持ち帰りについて

子どもが下痢や感染症の場合、ウイルスがついたおむつを持ち帰ることは問題がある。回収する予定は。危険であることも認識している。回収は今後早急に検討する。

ファミリーサポートセンターの補償保険について

ファミリーサポート中の車の事故について、該当車の所有者が加入している保険を利用することになっ



松島梢 市民ネットワーク

ファミリーサポートセンターの補償保険について

ファミリーサポート中の車の事故について、該当車の所有者が加入している保険を利用することになっ

た。

ファミリーサポート中の車の事故について、該当車の所有者が加入している保険を利用することになっ

た。

ファミリーサポート中の車の事故について、該当車の所有者が加入している保険を利用することになっ

た。

ファミリーサポート中の車の事故について、該当車の所有者が加入している保険を利用することになっ

ている理由について伺う。

**答** 提供会員及び依頼会員のお子さんのけががファミリリーサポートセンターの加入する補償保険の対象となる。車両の修理は対象とならない。

**問** サポート中に事故を起こした場合は、提供会員個人が責任を負う。市として提供会員の自家用車と相手方への補償はやらないのか。

**答** 対応する保険がなかった。今後他市の状況を調査して検討する。

**問** 3分の1の提供会員が保険について詳しく知らなかったことについて。

**答** 入会説明会で説明して、ご理解をいただいている。



川口絵未  
市民ネットワーク

**化学物質過敏症について**

**問** 化学物質過敏症は極めて微量の化学物質で誰でも発症する可能性がある。柔軟剤等の香料で「香害」も増加。集中力、思考力が欠け落ち着きがなくなる、多動を引き起こす可能性との研究結果。周知、配慮を。

**答** 市施設・学校等のポスター掲示とホームページで周知。相談は随時受付。ことうほう佐倉でも掲載したい。

**新佐倉図書館について**

**問** 市民意見懇談会設置を。予定ないが図書館協議会や司書職員等の意見聞く。西側擁壁の改修設計の

追加で326万8千円。新図書館西側道路からの通路新設、閉架書庫を地下にし、地下1階、地上2階建てに。地下面積拡大となる大幅な設計変更があったが、議員、市民に説明がない。今後予算が膨らむ可能性のある拙速な計画を見直すべき。

**答** 計画途中で浮上した国の交付金活用の観点から擁壁解体に合わせ変更。質問する議員には個別説明した。災害に強い森林の整備を。

**問** 森林環境譲与税を使い、災害に強い天然林化を。

**答** 関係者意見参考に検討。



宇田実生子  
市民オンブズマン  
ひまわり会

**経常収支比率について**

**問** H29年度経常収支比率県内団体平均値91%に対し市はワーストワン98・3%。理由と今後の目標値を問う。

**答** 生活保護費給付報告数値誤りに伴う過年度返還金との相殺等で普通交付税が約15億円減となった。類似団体の平均値以下を次期総合計画の成果指標とする。

**問** 高年齢者、妊産婦、子育て世代等のお出かけタクシース券の外出支援タクシース制度導入の進捗・検討状況は。

**答** タクシー利用料金助成という方法も含め検討する。

**問** 高齢者ドライバーへの安全装置を取り付ける器具等に対する補助金制度の確立の進捗・検討状況を問う。

**答** 緊急施策として検討。ミレセン内市民防災啓発センターの後利用について。

**問** 少子化対策活用を求む。

**答** 市民ニーズを踏まえ、駅前での利便性や市全体の公共施設との調和のとれた活用方法を引き続き検討する。

**問** 環境問題としてのごみ袋の将来的には、プラ以外の素材の選択肢もあるか。

**答** 再生材やバイオプラスチック等、選択肢の一つとして研究していきたい。



敷根文裕  
さくらり会

**サウンディング調査**

**問** 千葉市はマーケティング調査により指定管理費として4000万円の費用負担をしていた施設が300万円の賃料を得られる施設に変わり年間4300万円のプラスを生み出した。市の資産を活用したいという声を聞くために取り入れていくべきでは。

**答** 民間事業者が、お金を支払ってでも利用したいといった施設や市有地の可能性を見極めるためマーケティングサウンディング調査は有効な手段であると考え、関係課と連携し研究する。

**問** 市民の安心、安全について

**答** 職員の災害対応能力向上のため、災害を想定した資格取得の経費に対して総務省から地方交付税措置が本年度より新設された。国の

制度を利用するべきでは。

**答** 議員ご提案の件に関して関係各課と協議し、人材の育成を図っていく。

**問** 市川市のLINE等による相談対応のように、AIの活用を考えているか。

**答** 20代、30代のLINEの利用率は90%を超えており活用について研究する。

**問** ICT活用について

**答** 市川市のLINE等による相談対応のように、AIの活用を考えているか。

**答** 20代、30代のLINEの利用率は90%を超えており活用について研究する。

用語解説

※「サウンディング調査」

市有地などの有効活用に向けた検討にあたって、活用方法について民間事業者から広く意見、提案を求め、「対話」を通じて市場性等を把握する調査

お子さま連れで議会傍聴へ！

- 【対象児】** 生後6か月以上で就学前のお子さま
  - 【利用可能日】** 本会議の一般質問のみ  
(傍聴者おひとりにつき1日2時間まで)
  - 【利用料】** 無料
  - 【申込期限】** 各定例会の招集日まで  
(11月定例会の場合は11月25日(月)まで)
  - 【申込先】** 佐倉市議会事務局 ☎043-484-6254
- ◆託児を希望される方は、申込先までお電話ください。お子さまをお預けいただく際の注意事項が記載された書類等を郵送させていただきます。



主な議案の概要

市長から提出された議案のうち、議案第1号～議案第9号は平成30年度の一般会計・各特別会計・公営企業会計の決算の認定、議案第10号及び議案第11号は令和元年度の各会計補正予算、議案第12号～議案第20号までは条例の制定、議案第21号～議案第24号までは道路線の認定等、議案第25号は契約の締結、議案第26号は教育長の任命、議案第27号は教育委員会委員の任命、議案第28号は監査委員の選任、議案第29号は基本構想及び前期基本計画の策定、議案第30号は副市長の選任、議案第31号は固定資産評価員の選任に関する議案です。(議案第1号～議案第9号までの概要は1ページに掲載しています。)

【議案第10号 令和元年度佐倉市一般会計補正予算】

歳入歳出それぞれ8億9529万円を増額するもの。補正後の予算総額は、495億9253万2千円。

歳入の主なもの、地方交付税、国庫支出金、県支出金、繰越金の増額。分担金及び負担金、使用料及び手数料、繰入金などの減額。歳出の主なもの、繰越金の財政調整基金への積み立て、国庫支出金等返還経費、住生活基本計画推進事業などの増額。一般廃棄物収集運搬事業の減額。10月からの幼児教育・保育無償化に伴う関連事業費の補正。

債務負担行為の補正は、会計年度任用職員システム導入を追加するもの。

【議案第15号 佐倉市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について】

住民基本台帳法施行令が改正され、住民票への旧氏氏記が可能になったことに伴い、印鑑登録における旧氏の使用について規定するもの及び住民基本台帳法の改正に伴い、電子情報の管理媒体について所要の改正を行うもの。

【議案第16号 佐倉市立学童保育所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について】

青菅小学校区の児童推計が増加傾向にあることから、青菅小学校の敷地内に学童保育所を設置するもの。

【議案第17号 佐倉市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部を改正する条例の制定について】

子ども・子育て支援法が改正され、認定こども園、幼稚園、保育園等を利用する3歳から5歳までの子どもに係る利用者負担が原則として無償化されたことに伴い、所要の改正を行うもの。

【議案第19号 佐倉市立幼稚園児保育料徴収条例の一部を改正する条例の制定について】

子ども・子育て支援法の改正に伴い、佐倉市立幼稚園の利用者負担額及び一時預かり保育料に関する規定について所要の改正を行うもの。

【議案第20号 佐倉市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について】

本年4月24日に逝去された小出義雄氏の業績及び佐倉市への多大な貢献を後世に伝えるため、岩名運動公園の陸上競技場の名称を小出義雄記念陸上競技場に改めるもの。



会派等の意見

たぐひ会

議案第1号から第9号 平成30年度佐倉市一般会計、各特別会計、公営企業会計決算に賛成

決算の認定は、歳入歳出予算の執行実績の内容を審査し、収入及び支出が適法かつ正当に行われたかどうかを確認するものであり、市議会の重要な役割であると認識している。

私たちがさくら会は、一般会計を含め、各会計全般を通じて、予算を編成した際の目的に沿って執行されているか、その効果が十分に得られているか、さらには、今後の課題をしっかりと把握することができているかといった点に重点を置き審査を行った。

議案第1号の一般会計歳入歳出決算は、歳入の根幹となる市税収入が、昨今の経済状況を背景に増加した一方で、歳入全体としては、国庫支出金や県支出金、繰入金等の減少により、対前年度比で若干の減額となっている。各財政指標を見ると、財政の健全性は概ね維持されているものと理解でき、経常収支比率が高止まりしていること、実質単年度収支が3年連続赤字となっていることなどを踏まえると、健全な財政運営を今後も維持できるか否かの岐路に立っていると感じた。

これらのごことを踏まえ、個別具体的な事業の執行に

ついて確認したところ、道路改良や橋りょう維持など都市基盤の整備を着実に進めるとともに、子育て世代包括支援センターの拡充や産婦健康診査の開始など安心して子育てできる環境を整備・促進するなど、市の将来を見据えた「未来へつなぐ」ための事業についても適正に執行されており、バランスの取れた事業執行がなされたものと評価したことから、佐倉市一般会計歳入歳出決算を認定すべきものと判断した。

また、議案第2号から第9号までの各特別会計、水道事業及び下水道事業会計についても、予算の目的に沿って、適正かつ公正に執行され、その効果も上がっていることと認められることから、各決算について認定すべきものと判断した。

議案第10号 令和元年度佐倉市一般会計補正予算に賛成

本予算案には、近居・同居を支援する住生活基本計画推進事業の増額や、幼児教育・保育無償化に伴う、市独自の施策を含む関連事業費の補正など、本市の喫緊の課題である人口減少や少子高齢化対策に資する経費が盛り込まれていることを確認した。また、日本陸上界の名伯楽であり、本市のスポーツ振興に寄与された故小出義雄氏の功績を称えるため、陸上競技場の名称変更に係る経費も併せて計上されており、住民福祉

の向上のみならず、市の知名度向上にも資する内容であると判断し賛成する。

公明党

議案第1号、議案第9号までの平成30年度決算認定に賛成

生活圏域を全てカバーする5ヶ所目の子育て包括支援センターの開設や産婦検診の実施など、子育て支援施策や母子保健施策の推進に努めるなど、努力がみられた。また、防災行政無線のデジタル化やマンホールトイレの整備など防災施設の整備、さらには道路改良や橋梁の維持等、市民生活に重要な予算が適正に執行されており、成果もあげていることから、認定すべきものと判断し、賛成した。

なお、急激な人口構造の変化への対策や自然災害への対応、公共インフラの老朽化対策については、今後も継続して取り組むべき課題であり、引き続き適宜対策を取るよう要望する。

議案第10号 令和元年度佐倉市一般会計補正予算、保育無償化に伴う議案第17号、第18号、第19号に賛成

消費税率の改正に伴い、軽減税率の導入と併せて、幼児教育・保育の無償化が開始される。この制度導入に伴い、佐倉市において所要の条例改正が行われ、加えて市独自の施策を展開し、無償化実施後の保護者の経済的負担をさらに軽減する予定である事も高く評価し、

賛成した。

自由民主党

議案第1号 平成30年度決算に以下申し添え、賛成

根幹となる個人市民税や法人市民税は若干の増額が見られ、景気回復による所得向上の影響がうかがえるものの基本的には横ばい状態が続いている。経常経費も含めた執行状況を把握し、各事業における費用対効果の検証をしっかりと行い、経費の抑制に努められたい。近居同居住み替え支援や中古住宅リフォームなどの住生活基本計画推進事業は申請数が毎年伸びており、定住促進にたいへん効果的な役割を果たしていることと評価するものの、シティブロモーションでの転入は伸び悩んでおり、今後どう振り返り、軌道修正していくかが問われる。どう見せるかだけでなく、ニーズに定める施策を展開することも考えていく必要がある。

議案第10号 令和元年度佐倉市一般会計補正予算、幼児教育・保育の無償化関連議案に賛成

今後の保育需要にどのように対応していくか、不足する保育士の確保とともに、生涯にわたる人格形成の基礎を培う大事な時期に、子供たちに質の高い幼児教育の機会をいかに保障していくか、そこに佐倉市の特徴をどのよう活かしていくか検討を求めます。

議案第1号 平成30年度決算に以下申し添え、賛成

市民ネットワーク

主な反対理由議案1、2号

①コミセン等の施設や公民館の利用料値上げは民間企業の受益者負担の考え方に基づいているが、住民の福利向上を目的とした市民サービス提供とは本質が異なる。②水源確保事業は地下水を削減する八ツ場ダム、霞ヶ浦導水事業に反対のため。③国は生活保護費引き下げを一般低所得層との比較を理由に実施しているが、利用すべき人が補足されていない。④広域化となった国保は保険者努力支援制度や法定外繰り入れの削減等で医療費抑制が懸念される。

議案10、12、13、14号

①佐倉図書館建設変更の増額は当初西側擁壁の老朽化のためと説明。その後交付金を取るため老朽化してないことが判明。変更は地下図書館を拡大し3階をなくす等で、市民説明は大きく建設費増額の可能性が大きい。②会計年度任用職員は非常勤職員を低賃金、低処遇に固定化する制度である。

市民オンブズマンひまわり会

議案第20号 佐倉市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について

故小出義雄氏の業績及び佐倉市への多大な貢献には感謝しているが、不要不急の事業である看板設置等にかかる予算は566万5千円。①財政が厳しい中、台風15号による被災者の方々

への支援が最優先、急務である。また、岩名運動公園は市民の大切な財産であるにもかかわらず行政は、名称変更事業は軽微なものとして判断し、②市民に事前に周知せず、意見公募等も行っておらず市民協働との合理性がない。以上、①、②の理由から反対をした。

日本共産党

平成30年度決算認定に反対

各事業の執行残額が不用品として約12億円、翌年に繰り越された。予算を精査し市民要望に活用することが市政運営の責任。地方消費税交付金が27億円近くに増えたが消費が増えたのではなく物価上昇によるもの。市民のくらしも地域経済も厳しい中、受益者負担名目の各種料金値上げ、有料化は実施すべき施策ではない。

令和元年度補正予算に反対

幼児教育無償化は、女性の就労を促すのが目的。保育需要の増加には配慮がなく消費税を財源とするため、子育て世代の税負担は重くなり、真の支援にならない。

会派に属さない議員

議席3番 PFI契約について

議決された約24億の学校等空調設備整備事業について、消費税改定に伴う契約額の見直しをした案件。PFI契約については今後増加が想定されるが、額が大きく

議席11番 逆進性の強い消費税10%への増税を前提とした議案第10、17、18、19号に反対。

議席12番 議案第16号 佐倉市立学童保育所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定に賛成

青菅小学校の敷地内に学童保育所を設置することは、安全安心の面及び児童育成の面で大変効果的であり、子育て世代の佐倉への定住にもつながり良策である。

議席16番 議案第16号に賛成

佐倉市立学童保育所設置及び管理に関しては、地域の実情に沿った環境整備は重要と考えます。市が目指す将来都市像の実現に向けて子育て世代の人口流入は望むものであります。今後

も子育て支援施策及びサービス

の拡充を要望します。議席番号と議員名の確認は6ページの議案賛否一覧をご覧ください。



## 委員会報告

※議案は市長提出議案

### 総務常任委員会

《審査結果》

議案10	議案12	議案13	議案14	議案15	議案25
可決	可決	可決	可決	可決	可決

開催日：令和元年9月9日 / 場所：第三委員会室

議案6件について審査し、その結果は左表のとおりです。  
なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。  
会計年度任用職員制度の導入にあたっては、混乱が生じないように処遇や勤務条件等を明確にし、十分な周知を図っていただきたい。

〔委員〕◎平野裕子、○中村孝治、石井秀明、五十嵐智美、萩原陽子、藤崎良次、岡村芳樹



### 文教福祉常任委員会

《審査結果》

議案10	議案11	議案16	議案17	議案18	議案19
可決	可決	可決	可決	可決	可決

開催日：令和元年9月10日 / 場所：第三委員会室

議案6件について審査し、その結果は左表のとおりです。

〔委員〕◎久野妙子、○櫻井道明、松島 梢、齋藤寛之、岡野 敦、木崎俊行、為田 浩



### 経済環境常任委員会

《審査結果》

議案10
可決

開催日：令和元年9月11日 / 場所：第三委員会室

議案1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

〔委員〕◎敷根文裕、○徳永由美子、川口絵未、鍋田達子、密本成章、玉城清剛、齋藤明美



### 建設常任委員会

《審査結果》

議案10	議案20	議案21	議案22	議案23	議案24
可決	可決	可決	可決	可決	可決

開催日：令和元年9月12日 / 場所：第三委員会室

議案6件について審査し、その結果は左表のとおりです。

〔委員〕◎高木大輔、○山本英司、高橋とみお、宇田実生子、押木孝和、稲田敏昭、石渡康郎



## 佐倉市ホームページも ご覧ください

佐倉市のホームページ  
<http://www.city.sakura.lg.jp> から

- 会議録が検索できます！
- インターネット中継を見ることができます！
- 政務活動費のページを更新しました！

平成元年以降の本会議の会議録のほか、平成27年5月以降の常任委員会や議会運営委員会など委員会等の会議録も検索することができます。



## 11月定例会の予定

～議会を傍聴してみませんか～

- ◆議会運営委員会 11月19日(火)
- ◆招集日 11月25日(月) 午後1時から
- ◆一般質問 12月2日(月)～5日(木)
- ◆常任委員会 12月9日(月)～12日(木)
- ◆最終日 12月16日(月) 午後1時から

☆日程は変更になることもありますので、詳細につきましては議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 ☎043-484-6254

□インターネット中継：本会議(招集日・一般質問・最終日)の様相を開催時間中にライブ中継するほか、開催日のおおむね1週間後から録画中継を配信。

□CATV議会放映：本会議の様相を開催日の翌日午後5時30分から放送。  
【地上デジタル10チャンネル、デジタルCATV301チャンネル】

### 「佐倉市議会だよりNo.93」掲載記事のお詫びと訂正について

8月15日発行の佐倉市議会だよりNo.93「8ページ議会の構成」の記事におきまして、委員長・副委員長を示すマーク(◎、○)に誤りがありました。お詫びいたしますとともに、下記のとおり訂正いたします。

議会の構成 ●会派・常任委員会 (※◎は委員長、○は副委員長です)  
誤：総務常任委員会 ◎中村孝治 ⇒ 正：総務常任委員会 ○中村孝治  
建設常任委員会 ◎山本英司 建設常任委員会 ○山本英司

## 議会百景

台風15号により、佐倉市内も各地で被害が発生しました。停電で電気は使えず、給水ポンプ停止により水も使えない地域もありました。佐倉市メール配信サービスは、給水所や施設開放状況等が届きますので、メールアドレスをお持ちの方は是非登録をお願い致します。今回の課題について、議会でしっかりと取り組んでまいります。

(広報公聴委員 松島 梢)

台風15号による風水害や長期にわたる停電で被害に遭われた皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

議員になり半年が経ちました。初心を忘れず、佐倉市議会をより身近に感じていただけるよう広報公聴委員の一員として力を尽くしてまいります。さらに、市民であれば誰もが参加できる議会報告会の実現を目指します。

(広報公聴委員 宇田実生子)

まずは、9月9日未明に千葉県を直撃した台風にて、佐倉市内でも甚大な被害が出ており、多くの方々が被災されました。心からお見舞い申し上げます。広報公聴委員会では、市議会をより身近に感じてもらうため、議会だよりの作成や、意見交換会の開催も行います。また、議会傍聴にも是非とも足をお運びください。

(広報公聴委員 齋藤寛之)